「1ロット＝1個」が基本　月産はおよそ2000個

― 今年3月導入にヤマザキマザック製「VARIAXIS」導入 ―

リーマショック脱却後の2010年以降から設備増強　「剛性重視からスピード重視へ転換。工具の研究もスタート」

治工具製作で成果上げる出川工作所（神奈川県・藤沢市）

― ユキワ精工ツーリングユーザー訪問 ―　真野専務、湯本アドバイザーに聞く

真野専務

治工具づくりで顧客から絶大な信頼を得ている出川工作所（藤沢工場）を訪問し、真野専務、湯本工場長付アドバイザーに、機械設備の活用におけるスーパーG1チャックの役割と評価について取材した。

◆

出川勝会長が1984年、切削加工を請け負うブローカー的な立場で創業したと言う。

1992年入社の真野専務は「創業者は工作機械の組み立てに従事していたようで、独立時はゼロスタート。知り合いの加工業者に頼んで、仕事を請け負い、継続させていく中で、今の屋台骨となっている大手オイルシールメーカーからの治工具類の受注に成功。社業が軌道に乗っていく骨格を形成させていった」と説明する。

航空機部品加工も手がけるようになってきているものの、今でも大半は治工具製作に特化している。大きさは400角以内だ。

「転機を挙げるなら、やはり、2008年のリーマンショック時に遡る。仕事量が50％以上激減し、その状態が2年間続いた。ただ、従業員は誰一人として会社を辞めなかった」と真野専務は当時を振り返る。

2年間は我慢を強いられたが、2010年以降は、仕事量が急拡大。リーマンショック前と比べても1・5倍程度の伸長を見て、増員に加え、機械設備も増強へと舵を切っていった。

治工具が大半なので、1ロット＝1個が基本。月産で2000個を数えるまでに拡大した。

「（機械の選定も）剛性重視の考え方から、スピード重視へ。また、高速で削るという発想への転換に伴い、工具の研究についても従来以上に熱が入っていった」。

ところで、ツーリングについては、もともと他社製を使用していたが、2018年にユキワ精工のインターネットで「ツーリング特集」が企画されていた。

湯本アドバイザーは「剛性よりも、真円度をアピールしており、そのスタンスは我々の志向に合致していた。しばらくはインターネット上の加工動画で研鑽を積んだが、その年に開催されたJIMTOFで、直接、ユキワ精工ブースを訪問。クランプするとき、コレットの締まり方がテーパーになっており、真円度の高さをキープする機構について、教えて頂いた。

早速、ツーリング以外、同じ条件で、スーパーG1チャックをDMG森精機製Dura Vertical に搭載し、試してみた。

「真円度の高さを証明するかのように、従来と比べ、加工音が静かになり、切削面も綺麗になった。直ぐにスーパーG1チャックを10本、まとめて購入した」。

オイルシールメーカー1社からの受注量の拡大ばかりか、新規顧客も増大、毎年のように機械設備を導入していった。

そして今年3月にはヤマザキマザックのワンチャッキングで多面加工、同時5軸による3次元曲面加工のできる「VARIAXIS」を現場に据えるタイミングで、スーパーG1チャックを60本手当した。

「稼働からおよそ半年も経っているのに、工具交換は一度もしないまま。この間、治工具の製作はおよそ360個に及ぶ。まさに真円度の高さを立証していると言えようか」と湯本アドバイザーはスーパーG1チャックを、そう評する。

スーパーG1チャックを手にする湯本アドバイザー

スーパーG1チャック60本購入

「半年間で治工具およそ360個製作。工具交換ゼロ。真円度の高さ立証」

DMG森精機製 Dura Vertical でトライアル

「真円度の高さを立証。加工音が静かになり、切削面もきれいに」

01
高精度
総合芯振れ精度
5μm保証

03
高把握力
高速ミーリングで
威力を発揮

02
高剛性
切削抵抗による
倒れに強い

Super G1 Chuck
YouTubeにて動画公開中!!

YUKIWA
ユキワ精工株式会社
http://g1-chuck.com
本社・工場／〒947-0052　新潟県小千谷市千谷2600番地1
TEL.0258-81-1111（代）FAX.0258-81-1112
営業所／東京、名古屋、大阪、中国（上海）、U.S.A.
URL http://www.yukiwa.co.jp/